

令和5年度 香川県立琴平高等学校 学校評価

本校では次の教育方針のもと、本年度の重点目標を掲げ教育活動に取り組んできました。

【教育方針】

心身を鍛え、生涯にわたって学び続ける意欲を養い、地域社会の一員としての自覚と国際的視野を育み、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい人間の育成を目指し、次のような教育方針のもと、家庭や地域との連携を図りつつ、明るく活力に満ちた学校づくりを推進する。

1. 人間や自然を愛する心を養い、心ゆたかな誠意ある人間の育成に努める。
2. 自主、自立の精神を養い、心身ともにたくましい熱意あふれる人間の育成に努める。
3. 広く高い知性を養い、郷土を愛し、社会の発展に貢献する創意に満ちた人間の育成に努める。

【本年度の重点目標】

地域社会の中核として活躍するたくましい人材の育成 — 地域で学び、地域で育つ琴高生 —

- ① 基礎学力の向上 ② 基本的生活習慣の確立 ③ 進路意識の高揚 ④ 地域連携の推進

今年度の教育活動に関して、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケート(生徒・3年保護者・教員)を実施しましたのでその結果を報告します。

また、令和6年2月に学校関係者評価委員会を実施し、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケートの集計結果を提示し、分析と協議を行った結果、下のような学校関係者評価をいただきました。

○学校関係者評価

<生徒からの授業評価・学校評価アンケート等について>

- ・(質問) 1年団の服装違反5%以下の5%というのは、どういう基準で決まったのか?
→ (回答) 昨年の結果を踏まえて決定した。
- ・(質問) どんな方法でアンケートをとったのか。
→ (回答) 保護者には、用紙を配付。生徒にはClassiを使った。
- ・(質問) アンケートの回収率はどうか?
→ (回答) ほぼ100%回収。
- ・(質問) 子どもの年齢が上がるにつれて、自立をしていくこともあり親の干渉も減少傾向にあるのか。
→ (回答) 減少している。こども園に比べると、保護者が学校の様子が見えていないのかもしれない。
- ・(質問) たくさんの保護者が来校するのか?
→ (回答) 5月のPTA総会に合わせて行う公開授業のときには1年生の保護者が多く出席するが、それ以降の公開授業への出席率はあまり多くない。
- ・(評議員より) 全体的に良い結果が出ているのは、先生方の努力が出ているように思う。

<教育活動等について(評議員より)>

- ・琴平は歴史的遺産が多い。ぜひボランティアで、琴平を訪れた人にガイドをすとかはどうか。ガイドをするために、文化財保護協会の講習会や施設見学会に参加して歴史を学ぶなどしてはどうか。(牧野富太郎展の時の佐川高校のように。)部活との兼ね合いもあり難しいこともあるが、琴高の特徴作りの土壌作りやネームバリューUPのためにも積極的な参加をしてほしい。
- ・琴平の立地条件を生かして、金刀比羅宮や参道の店とコラボすとか、海外からの観光客も多いし、英会話でサポートをすとか、駅から参道までのガイドをすとかはどうか。
- ・観光協会や旅館組合と組んで接客の体験をしてみるとか、琴平町は人口が減り高齢化しているので、ぜひ高校生に活性化をしてほしい。

令和5年度学校評価 自己評価表（校務分掌・学年団）

	本年度の重点目標	具体的な取り組み	実施状況 (中間評価)	取り組みの見直し	実施状況 (最終評価)	評価と来年度の課題
		(数値目標)				
総務	ボランティア活動や体験学習の機会を増加する。	地域との連携強化、ボランティア活動参加の案内。（参加のべ数2,500人以上）	C	運動部活動などが中心になり活動をしているが、自主的な校外のボランティア活動への参加が少ない。	B	部活動や生徒会などが中心になり活動をしているが、自主的な参加は少なかった。募集の仕方を工夫し、引き続き募集を続けたい。
	「朝の読書」をきっかけに、読書活動を推進する。	図書貸出数950冊以上。	A	図書貸出数は約660冊。今後もコーナー展示や掲示物作成に励み貸出数を増やしていきたい。	A	図書貸出数は約970冊。今後、生徒のニーズに合った本を購入し、コーナー展示や掲示物を充実させ貸出数増加につなげたい。
教務	生徒が興味・関心を持って取り組む授業を行い、学びを深め、進路実現につながる学力を付けさせる。	ICT機器（特に教育用端末）の有効活用等により、興味・関心を高め、思考力や表現力につなげる。 分かる授業作り:授業アンケート等による適宜改善。アンケートによる授業評価。各項目で「当てはまる+やや当てはまる」:80%以上。	B	9月から「ロイロノート」がテスト導入され、授業や課題等でタブレットを活用し、思考力や表現力を養う機会が増加している。一方で、タブレットを準備していない生徒も一定数おり、その管理や運用方法を見直す必要がある。	A	ロイロノートは来年度も継続して使用する。 タブレットは学校で保管・充電できるよう整備する。 授業アンケート結果は昨年より若干改善が進んでいるが、特に1・2年生の自己評価（努力が学力向上につながる実感）を高める工夫が必要である。
	地域連携を進め、地域に愛される学校づくりを推進する。	HPやInstagram、YouTubeの活用等により、「学校の見える化」や魅力の発信を推進する。 1日体験入学参加人数を前年度より増やす。	A	Instagramによる琴高の魅力発信は継続して実施できている。体験入学の参加人数は、生徒186人⇒243人、保護者61人⇒76人と増加し、県外からの参加者も1人⇒3人と増加した。	A	2年ぶりに公開授業や異種武道大会等の公開行事を実施できた。 自己推薦選抜の応募者数が83名⇒95名と増加した。 学校HPの仕様を変更し、更新しやすくすることで、即時性を高める。
生徒指導	遅刻者数の削減	担任、学年主任、教育相談部と連携し、生徒一人ひとりに応じた指導を行い、遅刻者数を昨年度より10%減少させる。	A	担任、学年団、他の分掌と連携することで、生徒一人ひとりに応じた指導ができています。	B	学年団等と連携した指導はできたが、数値的には昨年度と同程度で目標の10%削減は達成できなかった。 不注意の遅刻を減らす対策を検討したい。
進路指導	進路意識の高揚を図り、生徒一人ひとりの進路実現を支援する。	進路希望調査で未定と回答する生徒3年生0%、1、2年生10%以内を目指す。	B	第1回進路希望調査では1年生24%、2年生17%、3年生8%の未回答があった。さらに進路実現に向けた行動がとれるように働きかける。	A	第2回進路希望調査では1年生3.4%、2年生2.7%、3年生2.3%の未回答であった。学びの基礎診断で自己採点を実施し、振り返りを行うことで1・2年生の学習に対する意識が向上した。
	地域の中で自分の役割を果たすために必要となる力を身に付けさせる。		B	生徒・保護者に自宅や学外で進路相談がもてるよう、Handy進路指導室を導入した。最新情報を提供し、さらに進路決定に役立てる。	A	2年生にhandy進路指導室を早めに導入し、ジョブサポートティーチャーとの面接をすることで、より適切な進路を紹介できるようにした。
	授業研究・学力向上の取り組みの改善にむけて共通理解を図る。		B	IT活用研修をはじめ、Classiの学習トレーニング機能の活用等、新しい情報を発信し学力の向上に努める。	B	研究授業やロイロノートなど教員間で使いやすい教材の情報を共有し研修をしながら、学力向上に取り組んだ。
保健・相談	生涯を通じて健康な生活を送るために、健康について自ら考え実践する力を育てる。	健康診断の結果からの病院へかかる受療率の向上のための指導、助言を行う。 受療率50%以上。	C	現在の受療率は12%と低い。受療率向上のための働きかけとして、2学期終業式での周知を行い、受療率向上のための指導を継続する。	C	受療率は中間評価の頃とほとんど変わらなかった。今後は夏休みを利用した受療を呼びかけるとともに、あらゆる機会を利用して、受療の意義について、指導、助言を継続したい。
	生徒の悩みや困り感の早期発見、早期対応。	生徒の多様なニーズに対応できるよう担任や学年主任と連携を図る。保護者の協力や理解が得られるよう、SC・SSWと関係職員の連携体制を工夫する。	B	保護者との連携をはかり、必要な場合は医療機関等との連携を実施するようにする。また、関係職員のケース会を効果的に実施し、内容を支援に生かせるようにする。	B	生徒支援委員会やSC・SSWとの情報交換より、困り感を抱える生徒の情報を共有し、連携対応につなげた。関係職員の連絡を密にし、早期発見・早期対応に努めていきたい。
人権・同和教育	人権・同和教育の核であるLHR（各学期2時間）の充実をはかる。[継続]	生徒が様々な人権問題を「自分ごと」として考えられるよう、指導案・使用教材を見直す。	B	1学期の実施分について、各学年の実態に合った形に指導案等を改訂した。2学期以降の改訂も今後進める。	B	指導案等の改訂は全学年についてひととおり完了したが、3年間の全体構成の見直しなど、今後もブラッシュアップが必要である。
特別活動	①特別活動に積極的に参加することを推進し、協調精神や自己肯定力の育成を図る。	部活動参加を積極的に呼びかけ、部活動入部率を90%以上にする。	B	部活動の入部率が高くなく、退部生徒も多い。進路にプラスになり、自己の成長を促す事を年度当初に生徒に話す機会をつくる。	B	部活動入部率75.9%。男子の入部率は若干増加傾向、女子は減少傾向にある。部活動の魅力伝える機会を増やし、新入生の入部率を高めていきたい。
	②学校内外の活動を通して、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。	各行事における生徒の役割を明確にし、事後アンケートの「行事・クラスへの貢献度」A（貢献できた）を80%以上にする。	B	今年度は、学校行事が規制なく行われている。生徒も積極的に参加し、達成感を感じている。各クラスで行事とおして、人間関係の円滑を育てていく。	A	学校行事に積極的に参加97.7%、体育祭での貢献度93.4%。アフターコロナとして、従来以上に達成感・充実感をより味わえる行事を展開していきたい。
1年団	基本的な学力・マナー（時間を守る、服装等）を身に付けさせる。	漢字テスト/英単語テスト合格率80%以上。 頭髪・服装違反：5%以下	A	漢字テスト83%、英単語テスト86%で目標に達している。継続させたい。	B	漢字テスト74%で未達成である。英単語テスト80%で目標に達している。
			C	頭髪・服装違反12.3%規範意識を高めさせる。	C	頭髪・服装違反8.4%、 規範意識を高められるよう、継続して指導を行う。
2年団	自ら考えて学習・行動できる姿勢を身につける。	漢字テスト/英単語テスト平均点80点以上。	B	生徒のモチベーションを高める声掛けを意識し、引き続き生徒の自主性を育てる。	B	意識が高い生徒は増えた。自主的に学ぶ習慣の定着が課題。平均点:漢字テスト67.6点/英単語テスト63.9点。
3年団	社会に出るための基本的なマナーを身に付けさせる。 進路意識を高め、希望の進路先に向けての準備を早めに、かつ自主的に行う。	授業遅刻0%、服装・頭髪違反5%以下。 7月下旬の懇談時に「未定」の者が5%以下。 2学期末時点で0%。	B	教材が用意できていなくて始業後ロッカーに取りに行く者がいる。入室許可証の徹底をして意識づけをしたい。	B	時間を守ることについては意識づけができてきたと感じるが、2学期後半以降、欠席や遅刻が大きく増加し、服装が乱れたのは残念である。指導後は全員直すことができています。
			A	1学期末段階で進路希望先未定の者が6名（3.4%）であった。2学期末の時点では全員が行き先が決定しているか、目標が定められている状態にできるよう、引き続き指導をしていく。	B	2学期末時点で、卒業後の進路が未定の者が数名いた。家庭の金銭的な問題や、保護者の考え方が進路決定には大きく影響することを痛感した。なるべく早い段階で具体的な進路を研究させ、家庭でも話し合いを重ねていけるような働きかけが重要である。

令和5年度 生徒からの授業評価

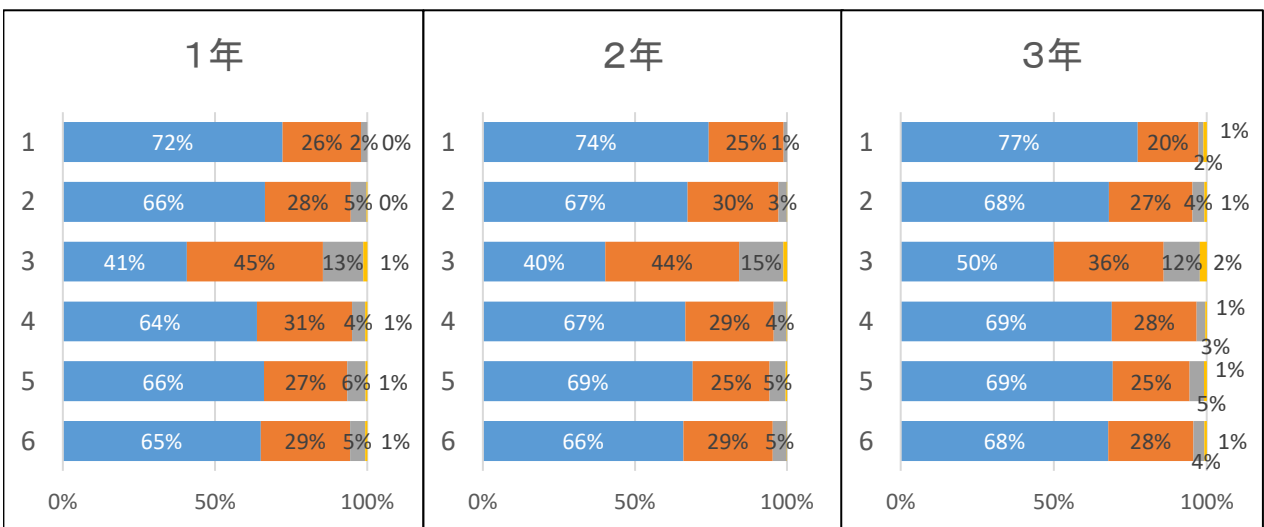
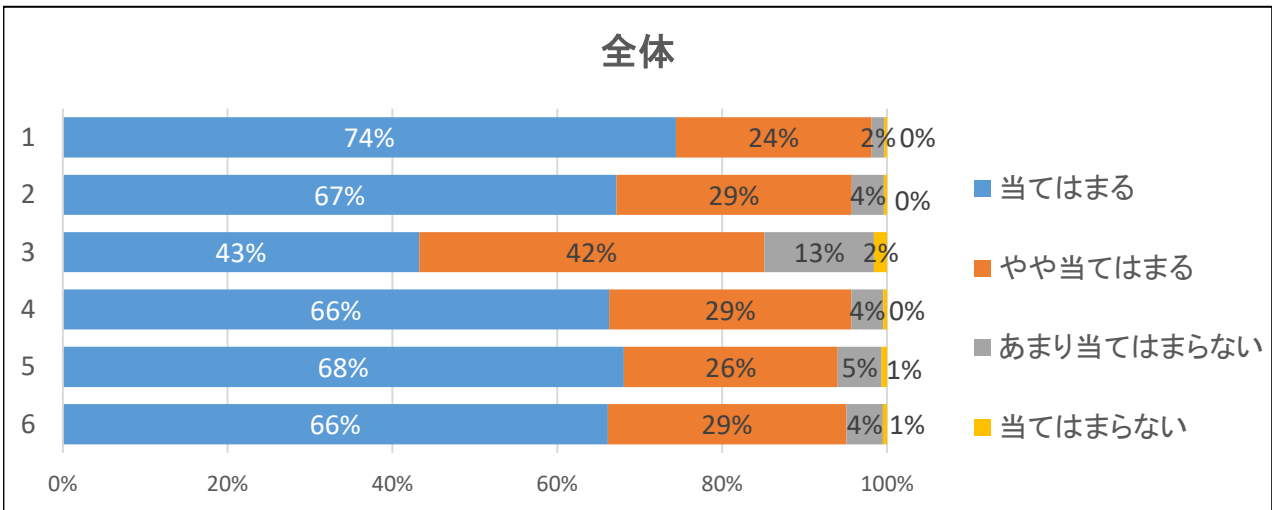
令和5年10月実施

【質問事項】

自己評価	1	授業に集中してまじめに取り組んでいる
	2	授業の準備する、課題を期日に提出する、予習復習をするなど、努力をしている
	3	努力した成果が成績に表れている
授業評価	4	先生の説明や板書はわかりやすい
	5	授業の進度はちょうどよい
	6	教え方や進め方に工夫を感じる

【選択肢】

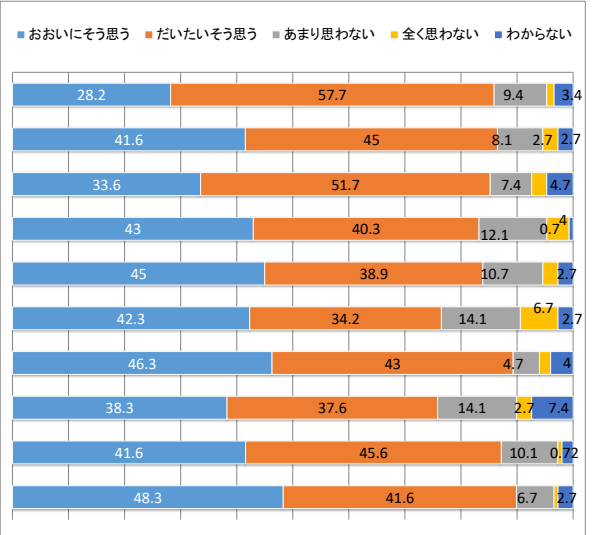
①	当てはまる
②	やや当てはまる
③	あまり当てはまらない
④	当てはまらない



令和5年度学校評価アンケート(令和6年1月実施)

【3年生保護者対象】令和6年1月実施回答者数(149名)

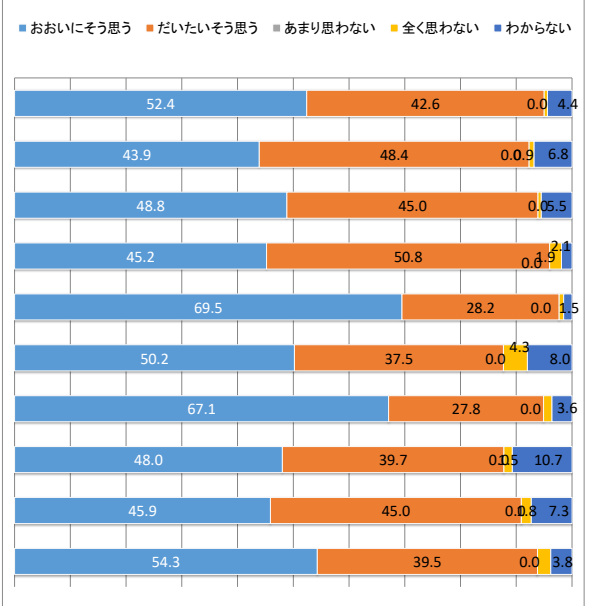
	おおいにそう思う/だいたいそう思う (%)	平均値 (4段階)
1 生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	85.9	3.2
2 コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	86.6	3.3
3 進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	85.3	3.2
4 定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	83.3	3.2
5 体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	83.9	3.3
6 部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	76.5	3.2
7 差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	89.3	3.4
8 悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	75.9	3.2
9 学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	87.2	3.3
10 琴平高校での高校生活に満足している。	89.9	3.4



※データは端数処理をしています。

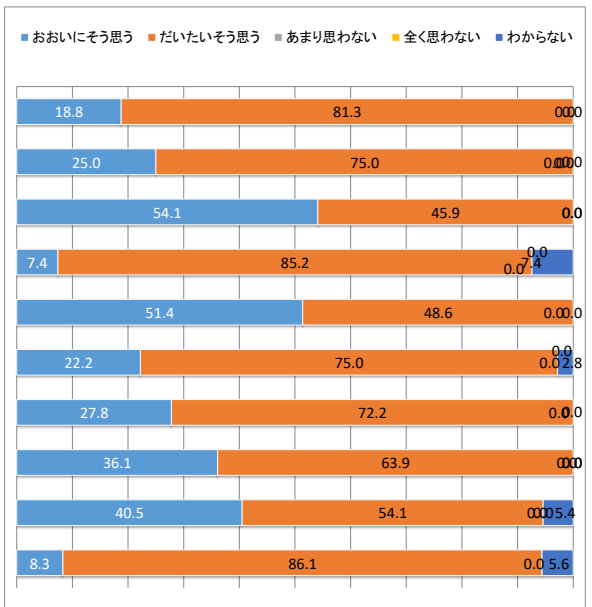
【生徒】

	おおいにそう思う/だいたいそう思う (%)	平均値 (4段階)
1 生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	95.0	0.0
2 コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	92.3	0.0
3 進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	93.8	0.0
4 定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	96.0	0.0
5 体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	97.7	0.0
6 部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	87.7	0.0
7 差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	94.9	0.0
8 悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	87.7	0.0
9 学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	90.9	0.0
10 琴平高校での高校生活に満足している。	93.8	0.0

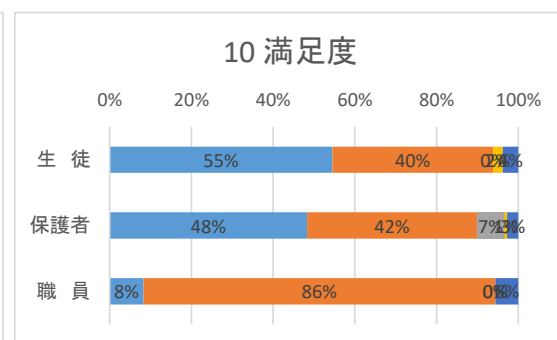
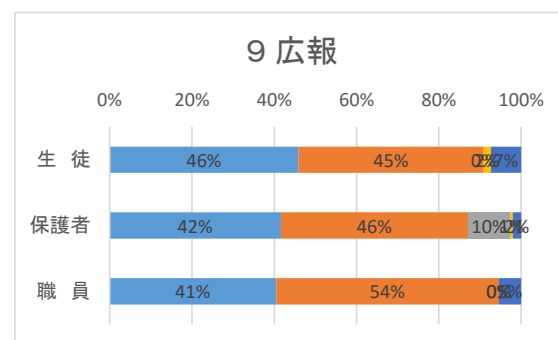
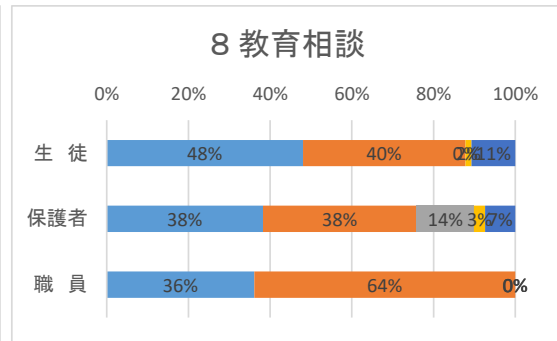
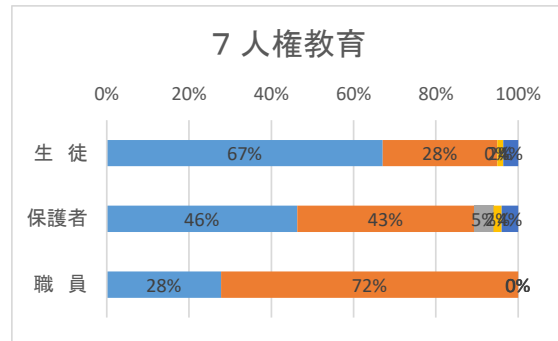
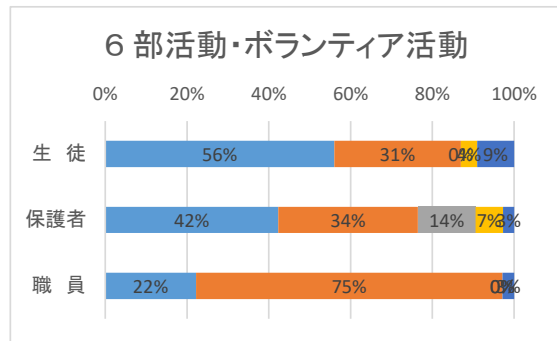
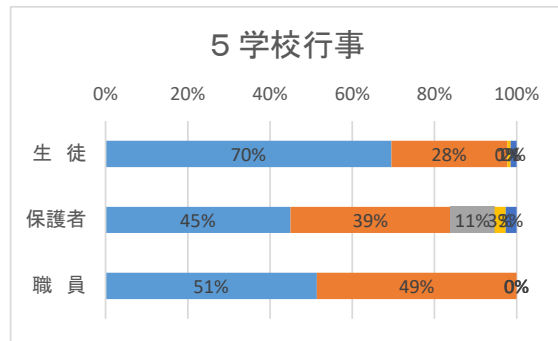
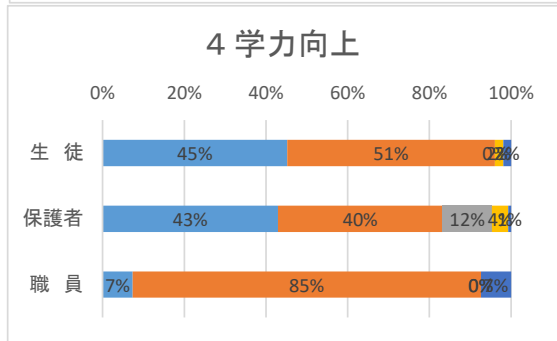
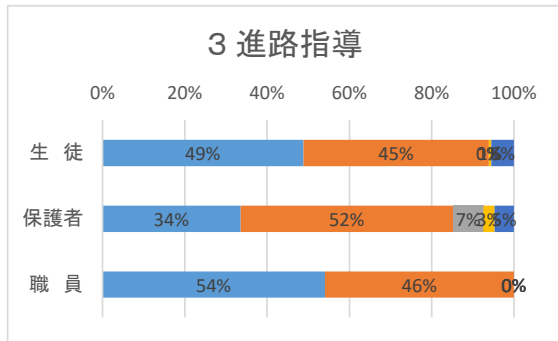
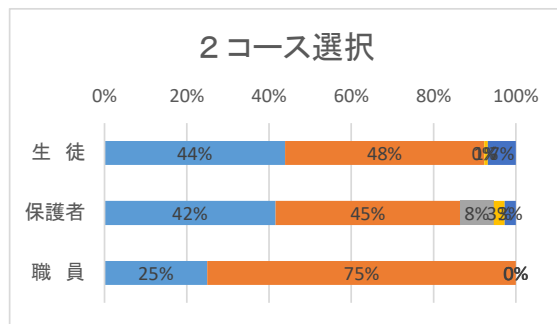
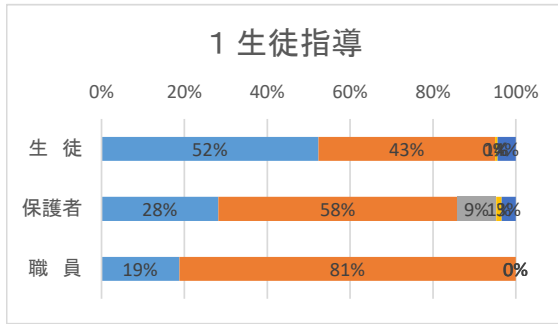


【教員】

	おおいにそう思う/だいたいそう思う (%)	平均値 (4段階)
1 生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	100.0	0.0
2 コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	100.0	0.0
3 進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	100.0	0.0
4 定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	92.6	0.0
5 体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	100.0	0.0
6 部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	97.2	0.0
7 差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	100.0	0.0
8 悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	100.0	0.0
9 学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	94.6	0.0
10 琴平高校での高校生活に満足している。	94.4	0.0



令和5年度 学校評価結果 比較



・学力向上と満足度について生徒と保護者の意見はほぼ同じだが、職員との乖離が大きい。
 ・今年度は学校行事に積極的に参加したという生徒が多く見られた。